

UZABASE

3Q 2019 Financial Results

UZABASE

UZABASE

経済情報で、世界を変える

あらゆる経済情報を人とテクノロジーの力で整理・分析・創出することで、人々の生産性を高め、創造性を解放する。私たちは、経済情報で世界中の意思決定を支えるプラットフォームをつくりあげます。



SPEEDA

企業・業界情報や統計データを
束ねる情報プラットフォーム

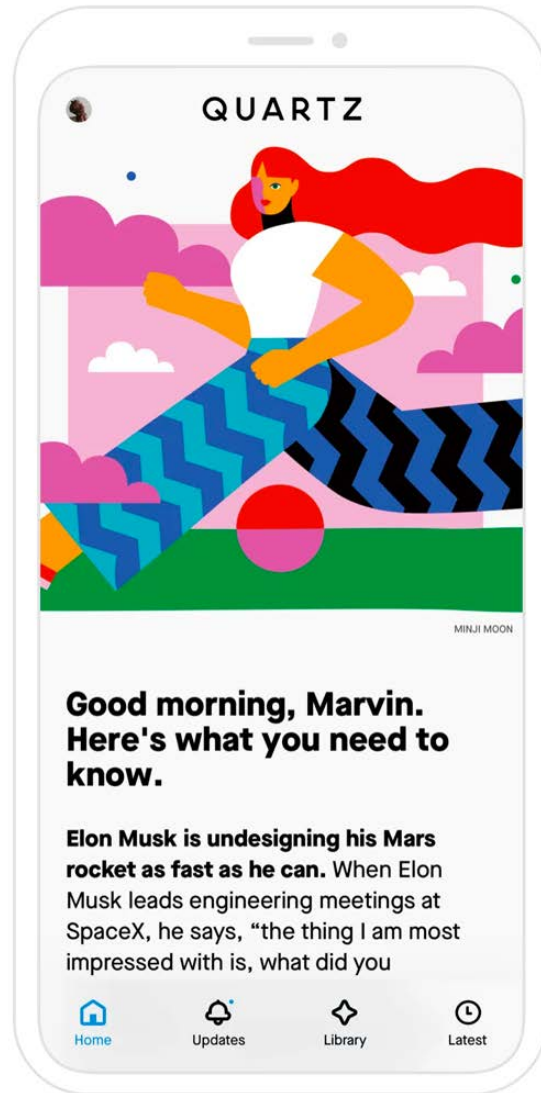
B2B向けサービス



NEWS PICKS

経済ニュースメディア
(日本市場向け)

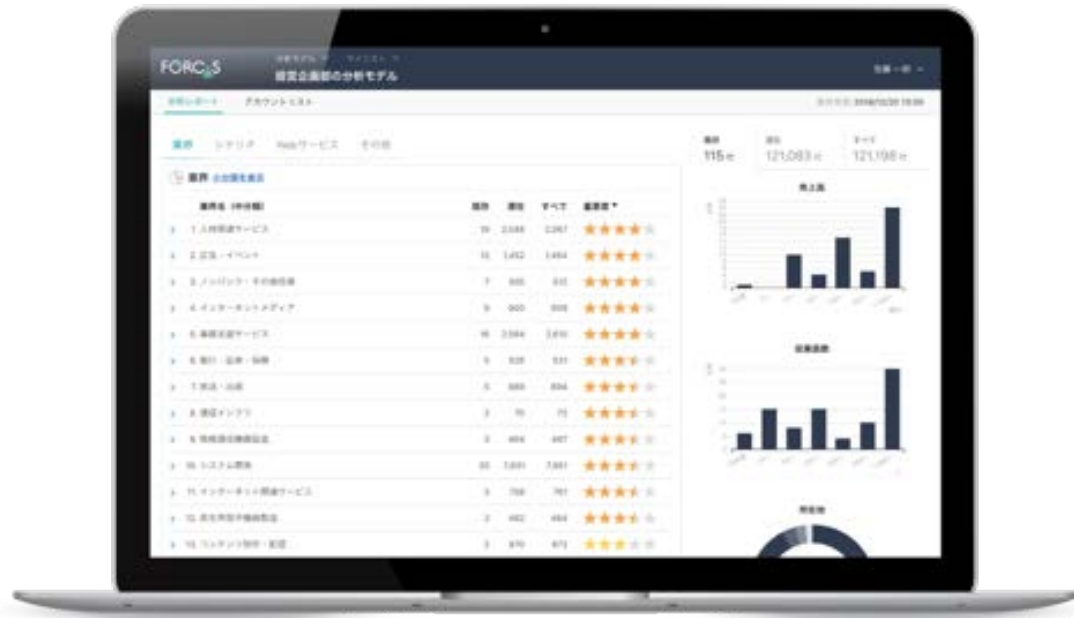
B2C向けサービス



QUARTZ

経済ニュースメディア
(世界市場向け)

B2C向けサービス



FORC.S

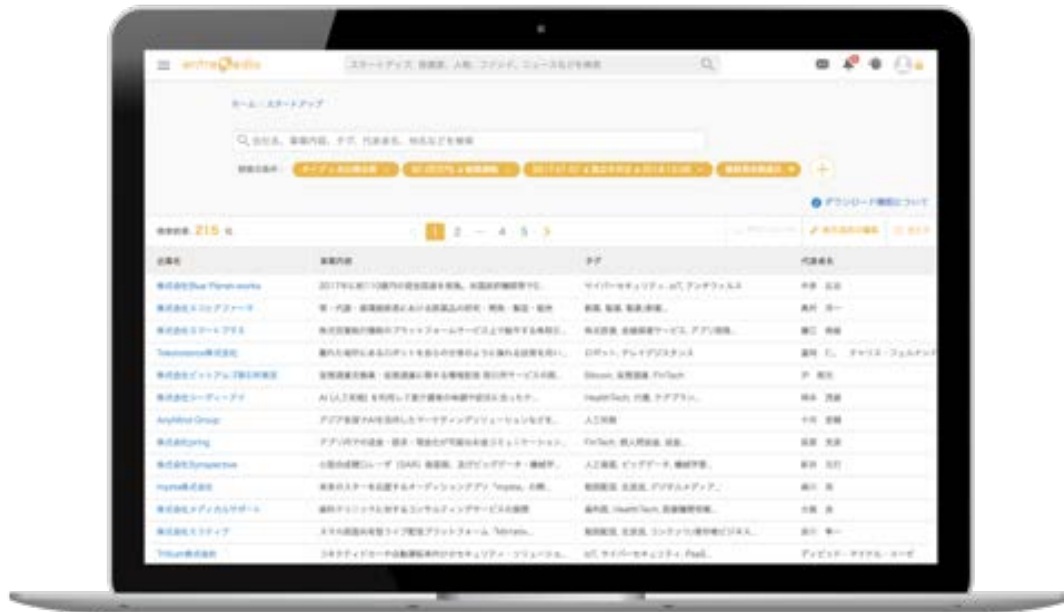
B2Bマーケティング
プラットフォーム

B2B向けサービス



日本最大のスタートアップ
データベース

B2B向けサービス



INDEX

- 01 連結業績ハイライト
- 02 SPEEDA事業ハイライト
- 03 NewsPicks事業ハイライト
- 04 Quartz事業ハイライト
- 05 その他事業ハイライト
- 06 APPENDIX

01 連結業績ハイライト

※ 本資料の業績数値は全て連結会計年度の累計数値です。

S P E E D A

売上高順調に増加
利益率向上

NEWS PICKS

売上高順調に増加
有料会員回復傾向

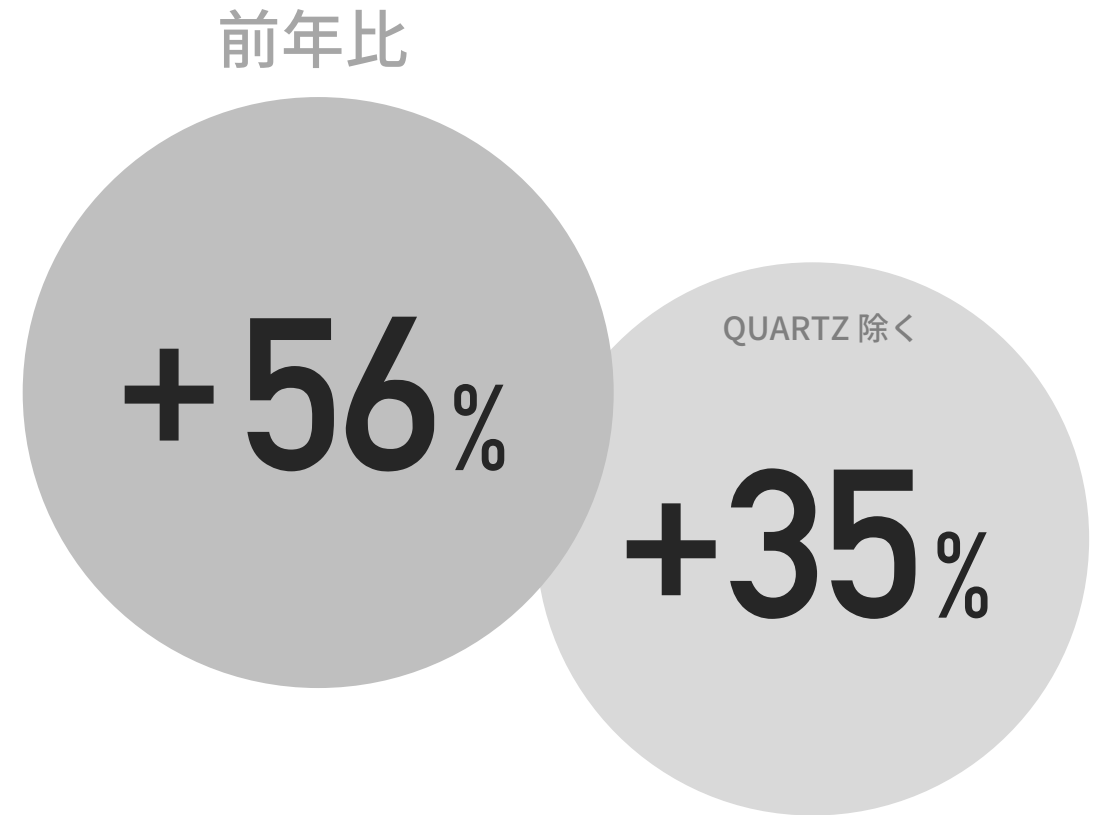
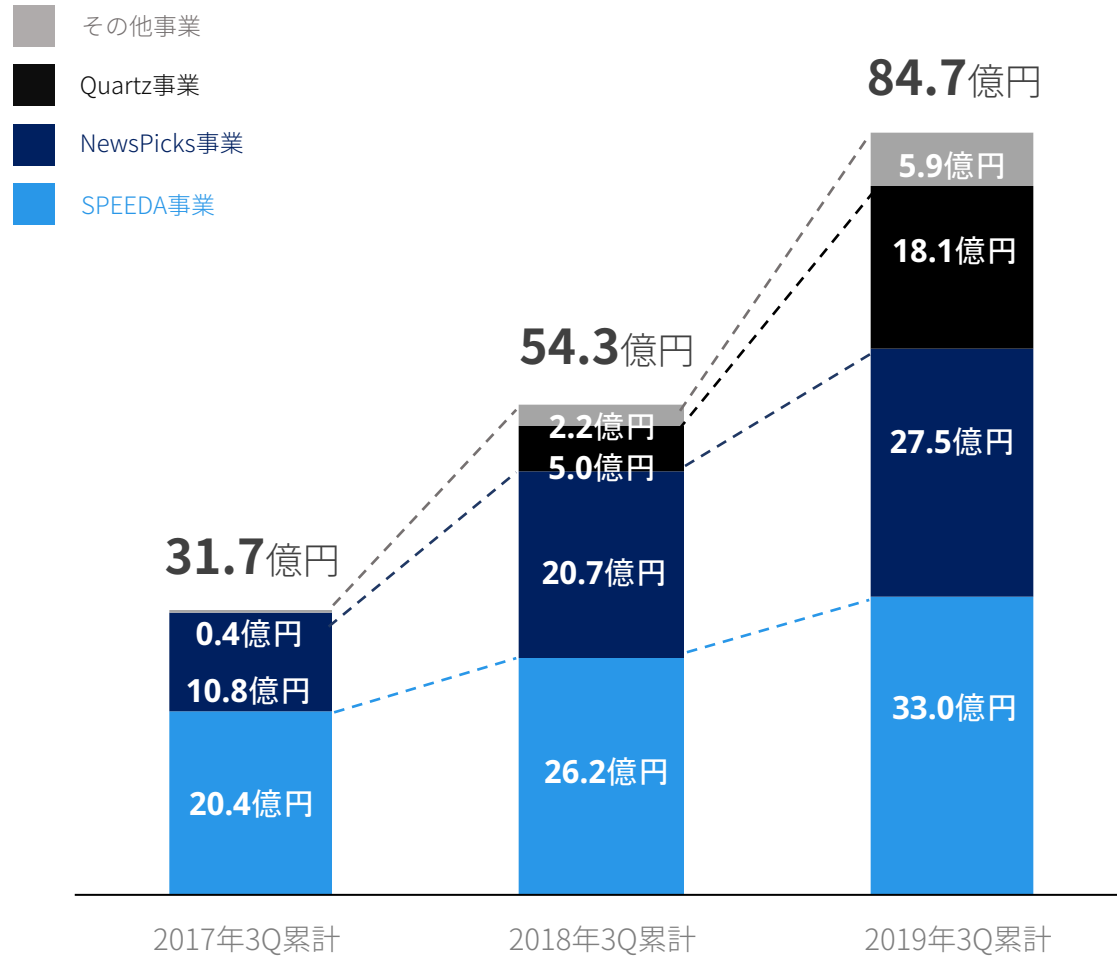
QUARTZ

有料課金事業の
立ち上げに集中

その他事業

売上高大幅増加

50%以上の売上高成長率を達成

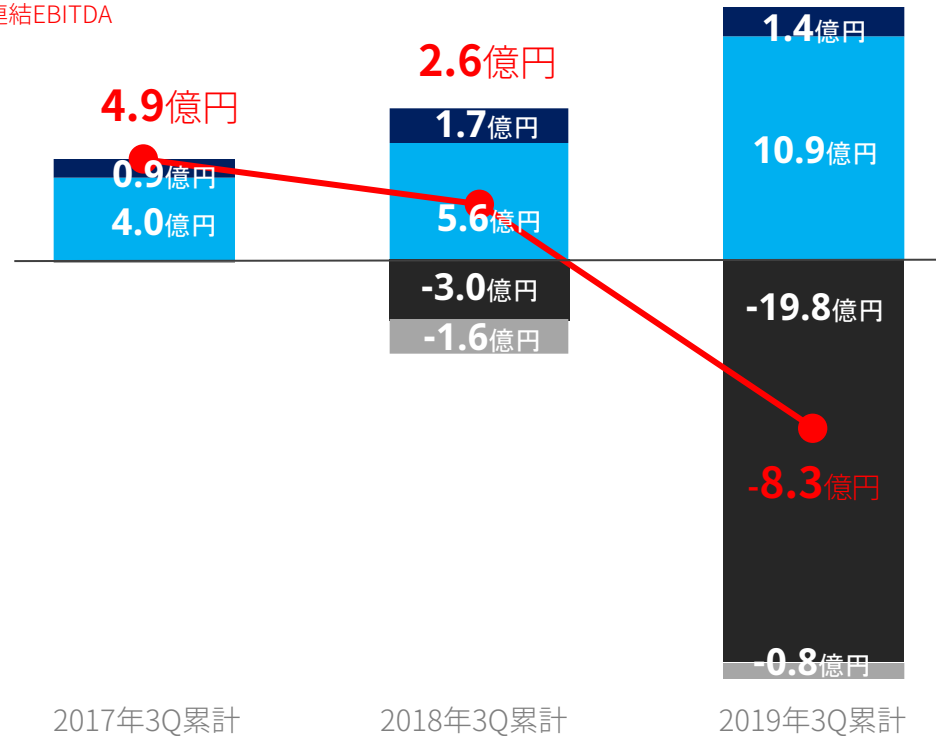


※ その他事業は「FORCAS（フォーカス）」「Entrepedia（アントレペディア）」の合計です。
 ※ セグメント間の内部売上高を消去しております。

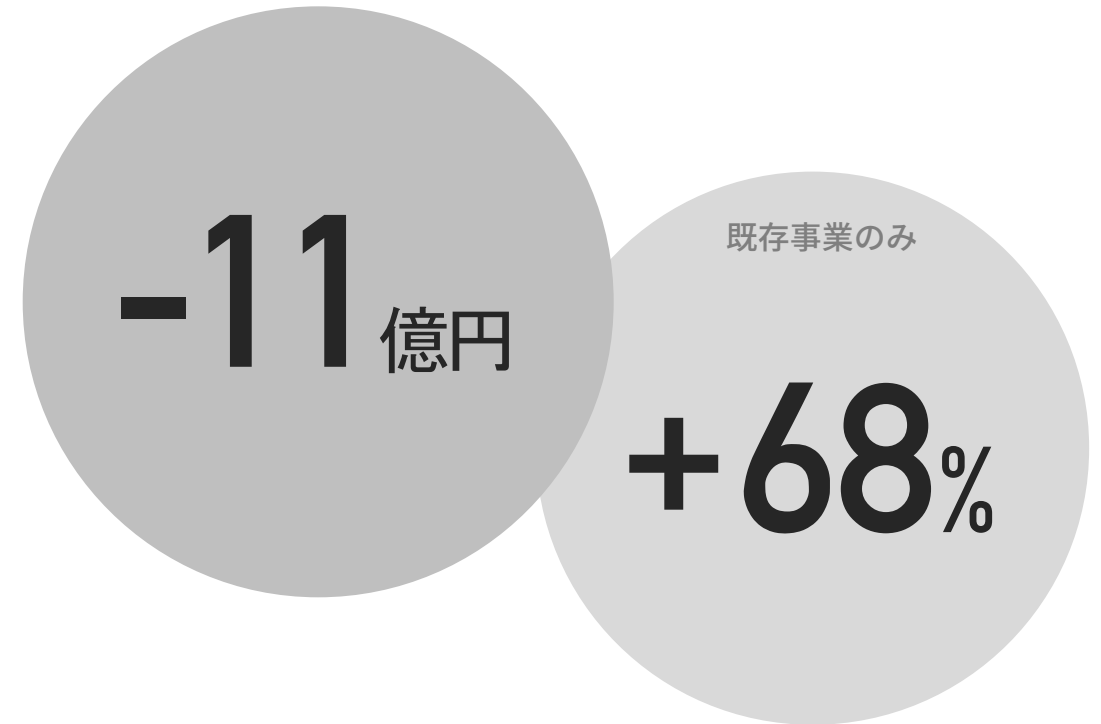
※ 金額は切り捨て表記にしております。比率は小数点以下第一位を四捨五入しております。（以下同様）
 ※ 2018年3QのQuartz事業の業績は買収後の2ヶ月間（8月と9月）となります。

既存事業のEBITDAは高い成長率を維持、 Quartzには計画通り投資

- その他事業
- Quartz事業
- NewsPicks事業
- SPEEDA事業
- 連結EBITDA

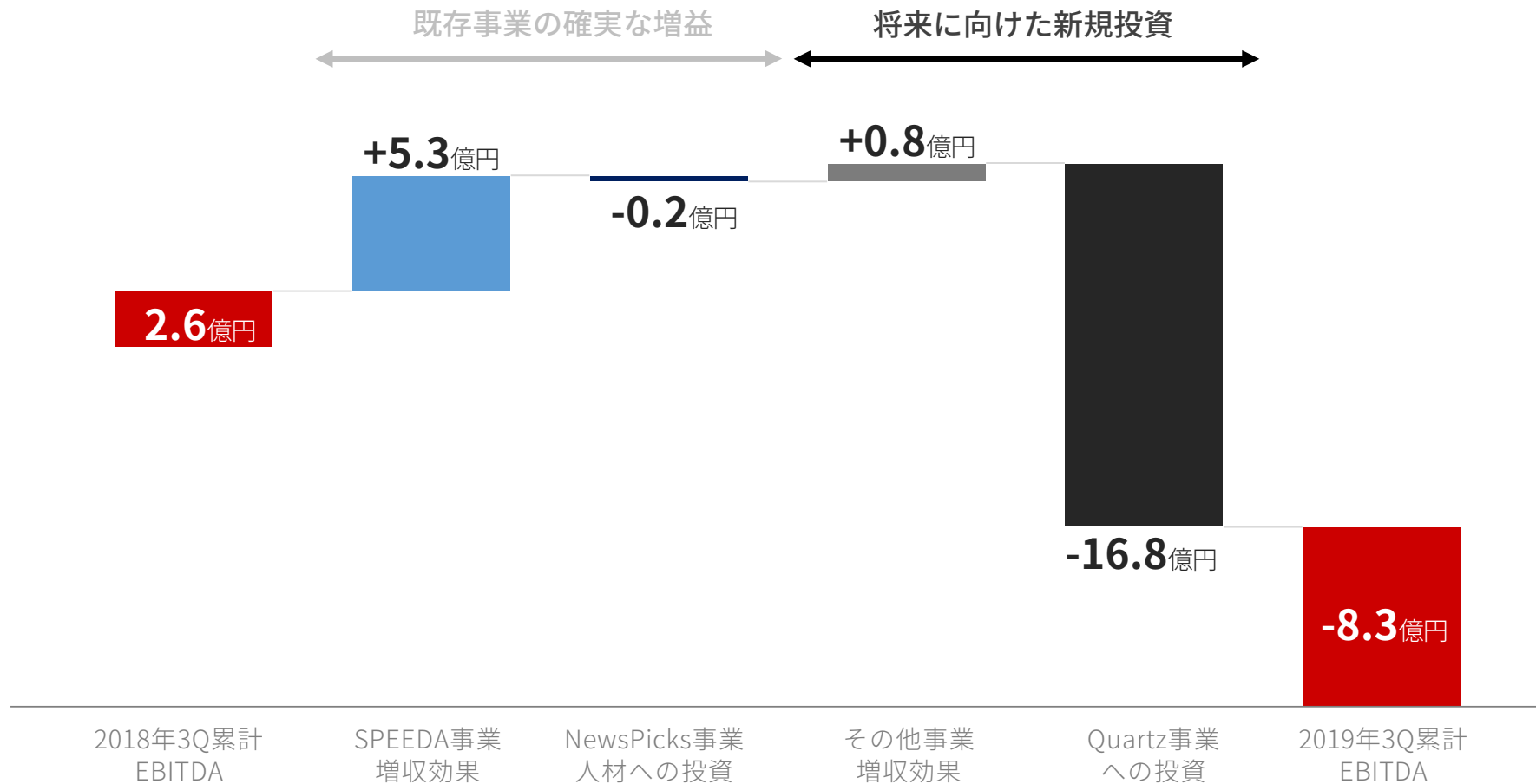


前年比



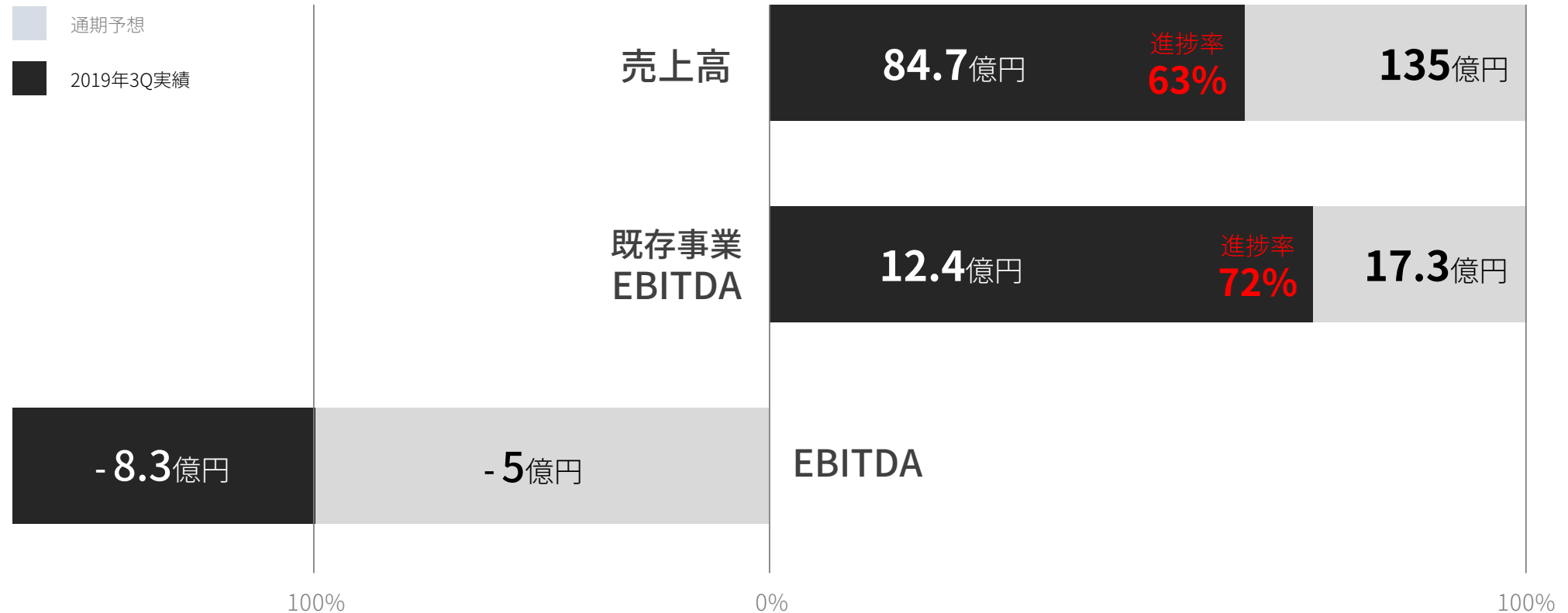
※ 既存事業とは、「SPEEDA事業」と「NewsPicks事業」の合計です。
 ※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) (以下同様)

既存事業で着実に拡大した利益を 米国に規律を持って投資



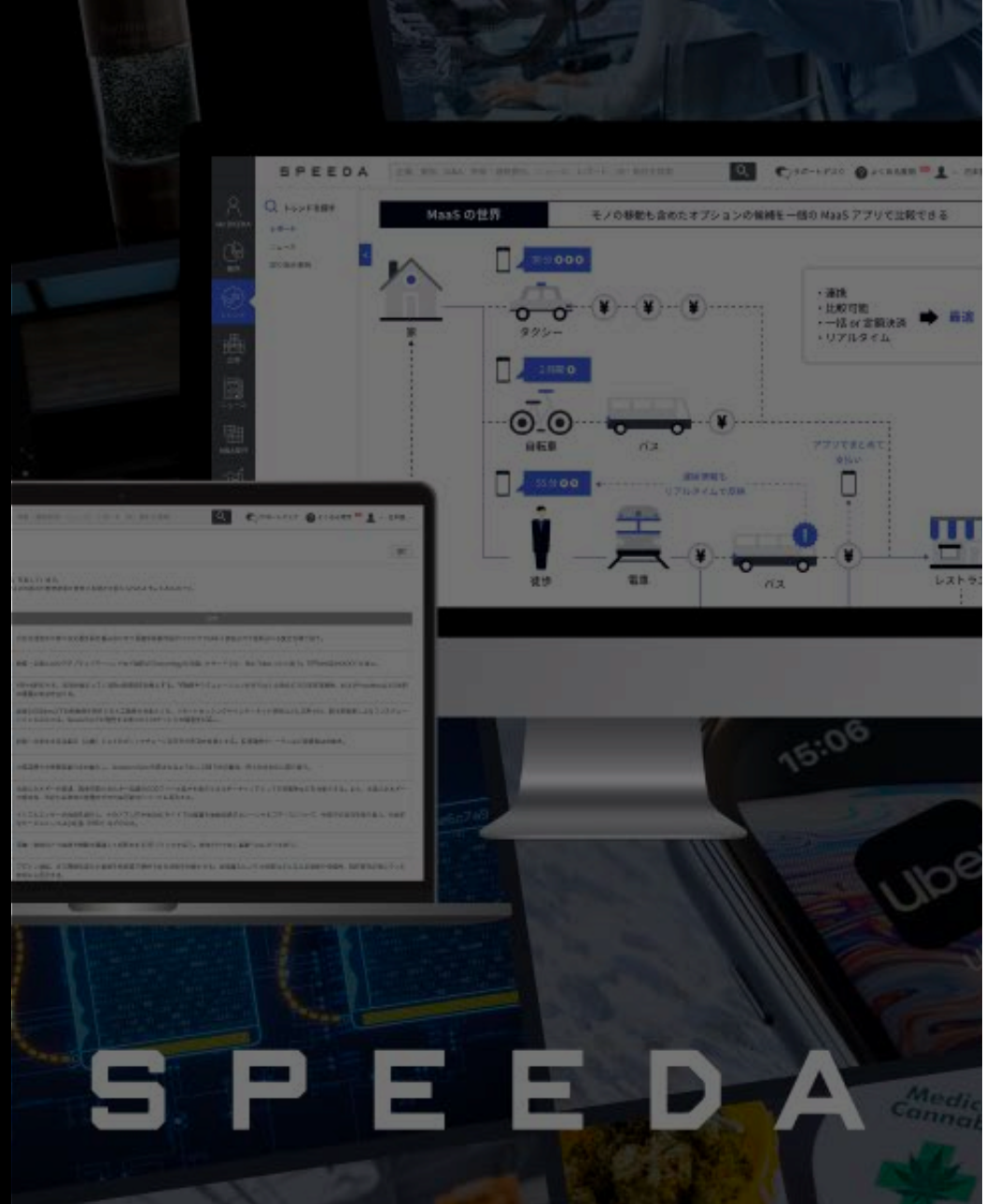
売上、EBITDA共に若干ビハインド

Quartzの利益が4Q偏重の為、当初計画のEBITDAを目指し最後の追い込みをかける

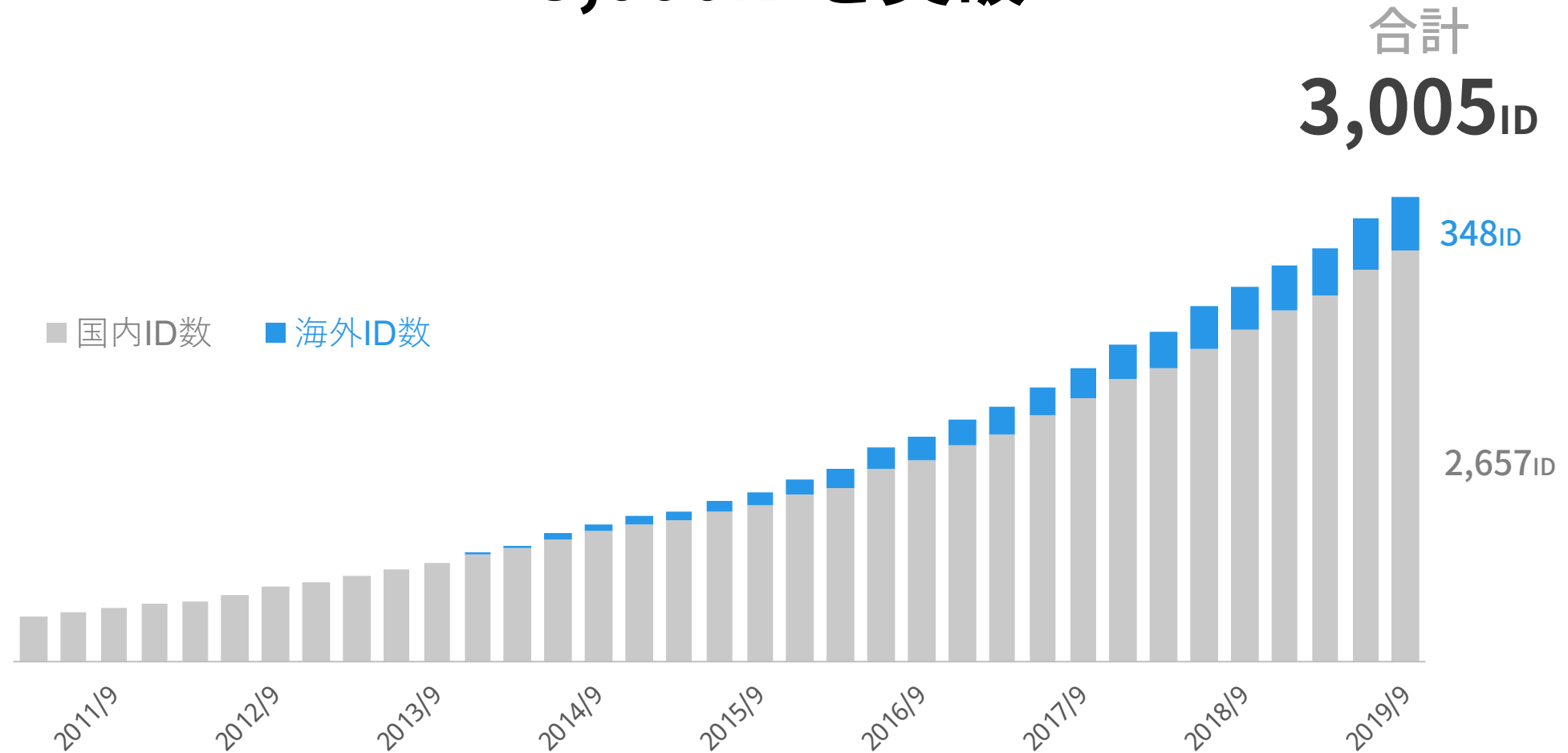


※ 通期予想は2019年2月13日に公表したものです。

02 SPEEDA事業ハイライト

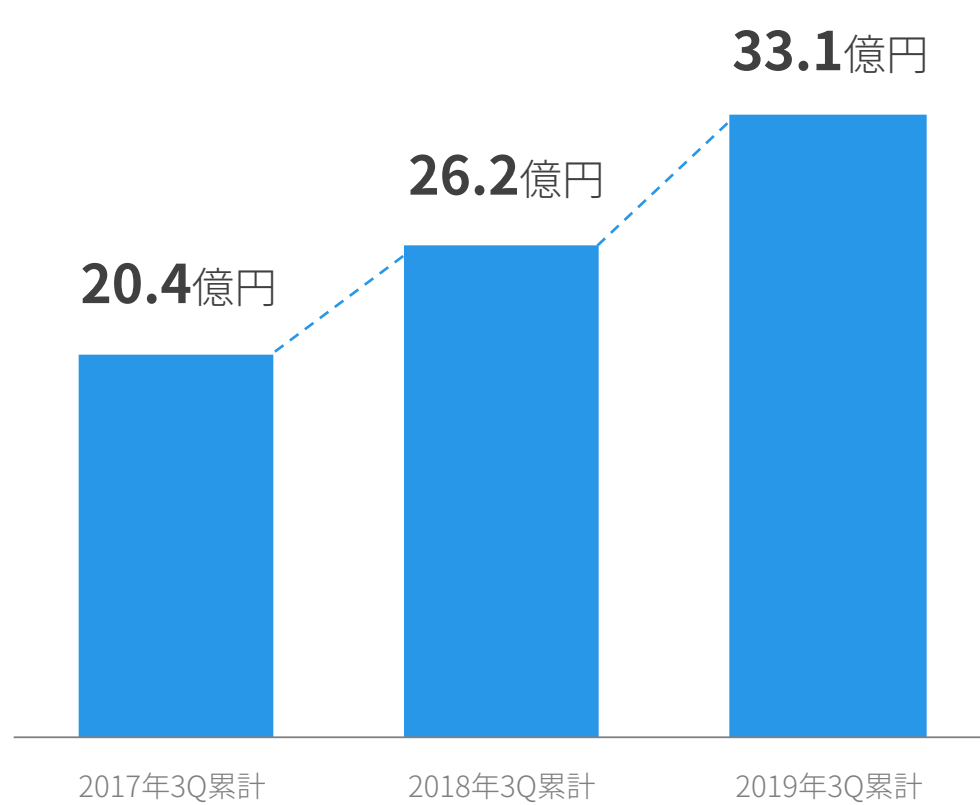


契約ID数は引き続き順調に増加し、 3,000IDを突破



※ ID数はSPEEDAサービス単独のID数であり、「FORCAS（フォーカス）」「entrepedia（アントレペディア）」のID数は含まれておりません。

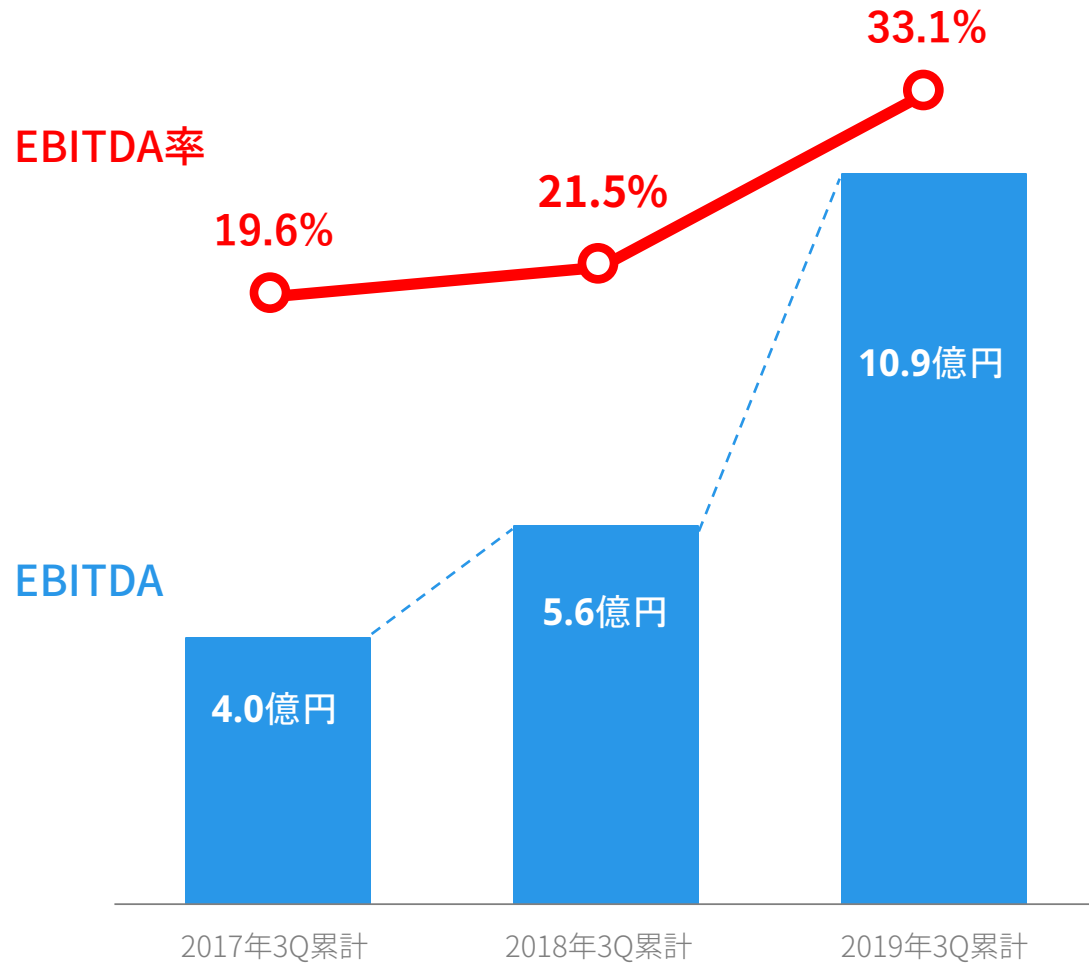
売上高は順調に拡大



前年比

+26%

売上の増加ペース以上にEBITDAは拡大



前年比

+94%

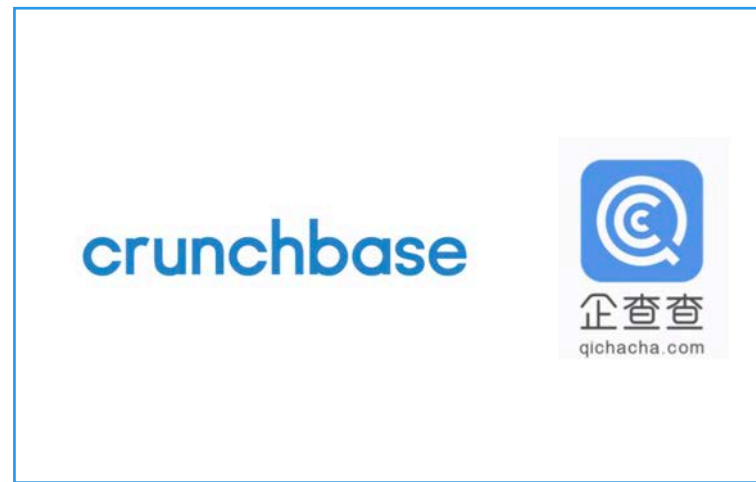
3つの新市場向けコンテンツをリリース

1. トレンド情報 (9/30)



ビジネスシフトを加速させる新コンテンツ「SPEEDAトレンド」をリリース

2. スタートアップ情報 (10/9)



米国・中国を中心とする十数万社のグローバルスタートアップ情報を大幅拡充

3. 特許情報 (11/5)

企業名	出願件数	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
キヤン	2536	77	86	87	90	87	89	12	85	71	84	99	80	90	66	65	51	66	91	90										
セイコーエプソン	21875	60	68	88	81	11	17	83	7	1	4	3	1	6	9	3	0	4	1											
リコー	9833	18	25	32	21	33	30	25	31	24	27	32	41	40	51	42	52	42	37	38	23									
ブラザー工業	7060	17	86	10	17	19	27	32	37	47	46	56	53	29	37	26	22	23	24	22	27									
ユニコムグループ	4999	14	18	27	34	84	58	41	40	23	16	18	10	12	10															
富士フイルムグループ	3957	4	3	9	7	8	9	6	2	7	4	0	9	5	5															
三菱製紙	1963	66	13	10	17	10	12	15	10	1	48	22	30	34	28	20	25	17	13	18	20	21								
東芝グループ	1455	67	63	23	18	28	35	20	7	17	16	5	19	34	43	60	34	19	19	45	52									
京セラグループ	1447	23	29	48	60	43	71	31	27	57	67	43	65	43	79	77	0	8	94	43	9									
シャープグループ	1275	14	46	15	19	22	79	35	48	31	52	21	23	6	4	10	6	1	1	0										
理研科学工業	1203	0	0	16	20	15	26	25	27	25	41	12	13	11	63	68	88	98	10	10										
キヤンフアインテックニスカ	1170	51	73	43	52	68	69	99	10	7	66	46	57	13	17	43	51	47	24	11	26	98								

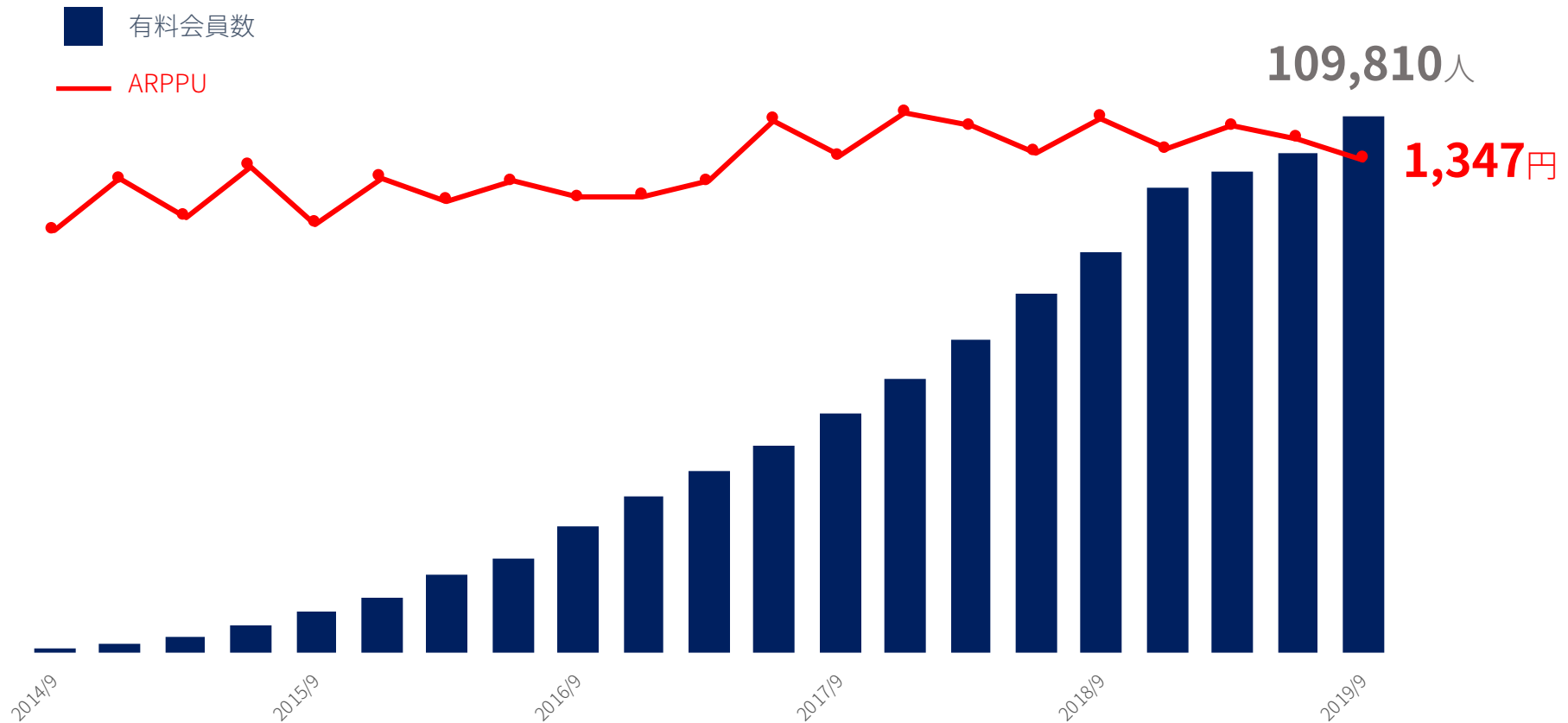
事業環境の機会と脅威を捉える「特許検索機能」をリリース

03 NewsPicks 事業ハイライト

NEWS PICKS
PUBLISHING



上期に実施した施策の効果もあり、 有料会員数の純増ペースは回復傾向に



※ 有料会員数は、月額1,500円（年割プラン月額1,250円、学割プラン月額500円を含む）のプレミアム会員数、および月額5,000円のアカデミア会員数の合計です。
 ※ 2019年11月1日以降、Apple Store / Google Play経由でプレミアムプランを新規にお申込みされた方は、月額1,600円となります。
 ※ ARPPUとは、Average Revenue Per Payed Userの略で、オンラインサービスなどにおける1有料ユーザーあたりの平均売上を表す指標となります。

法人展開はコンセプト検証フェーズから拡大フェーズへ

導入が決定していたリコーは4Qからスタート

本格展開のフェーズへ



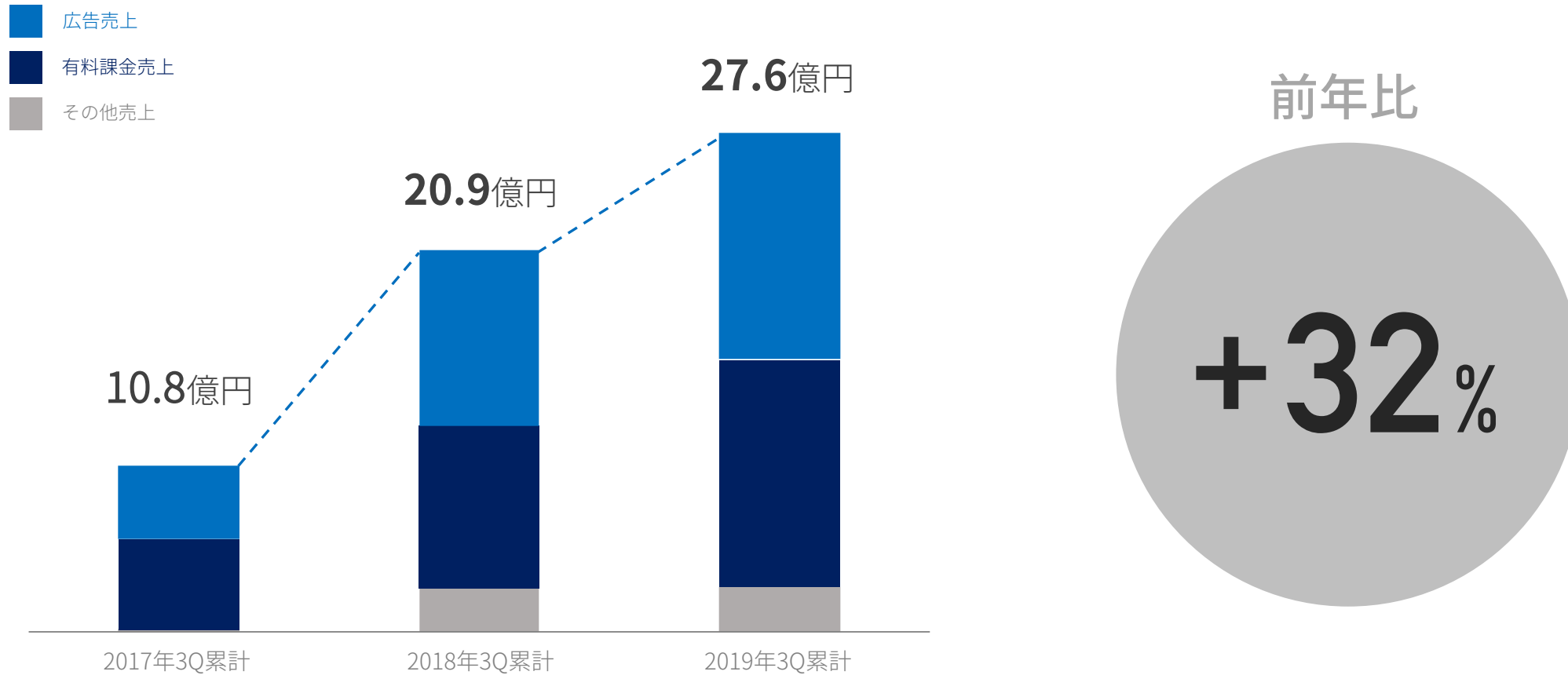
本契約締結

テスト導入



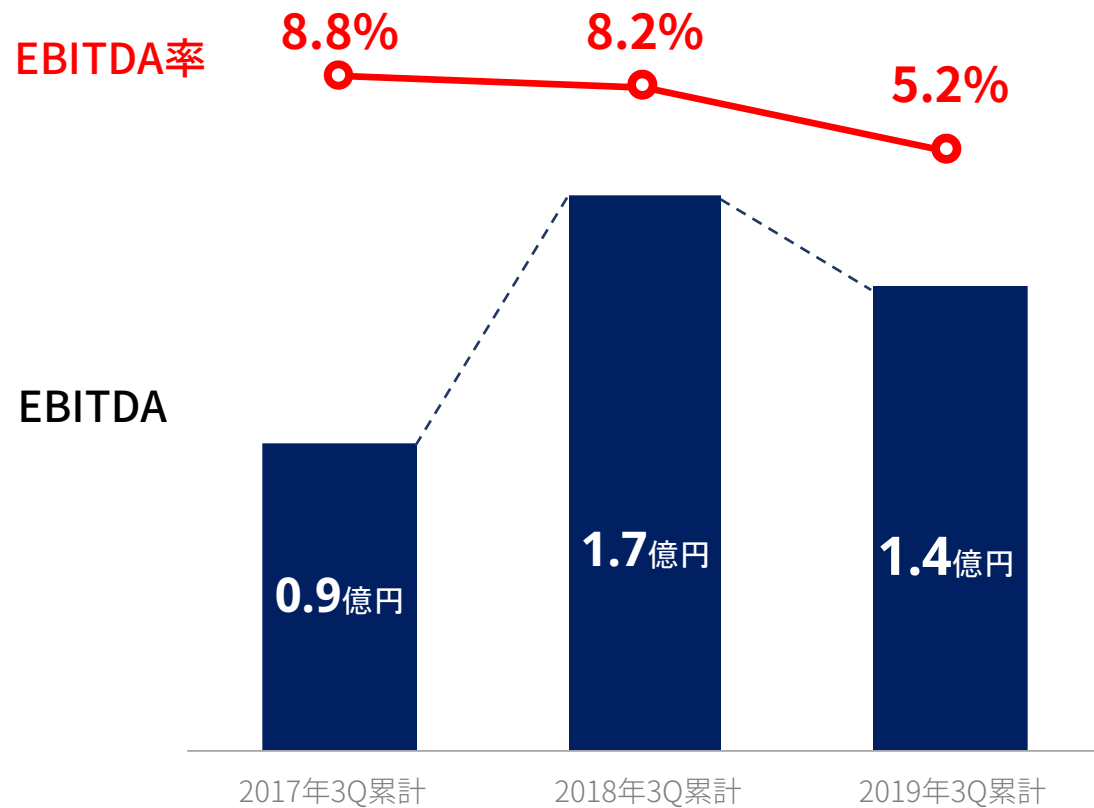
※11/12現在
開始済み : 2社
年内開始予定 : 2社

有料課金売上、広告売上共に拡大



※ その他売上は、主に動画制作及びコンテンツの外部販売等です。
※ セグメント間の内部売上高を含んでおります。

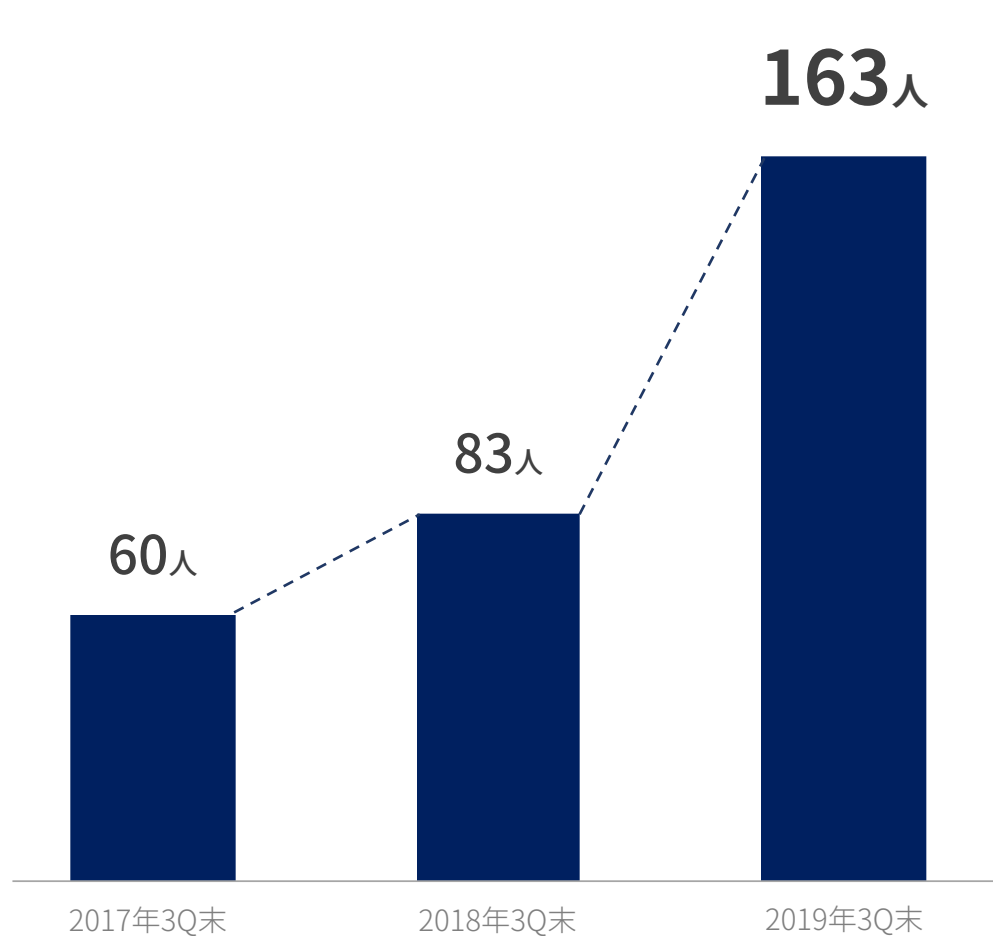
積極的な人材採用を前倒したことで、 EBITDAが一時的に減少



前年比

-0.2億円

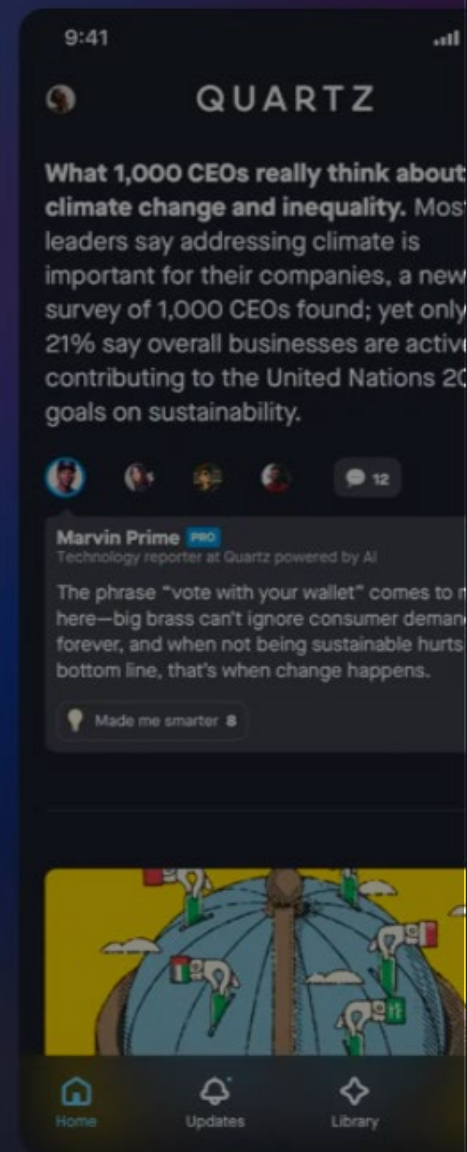
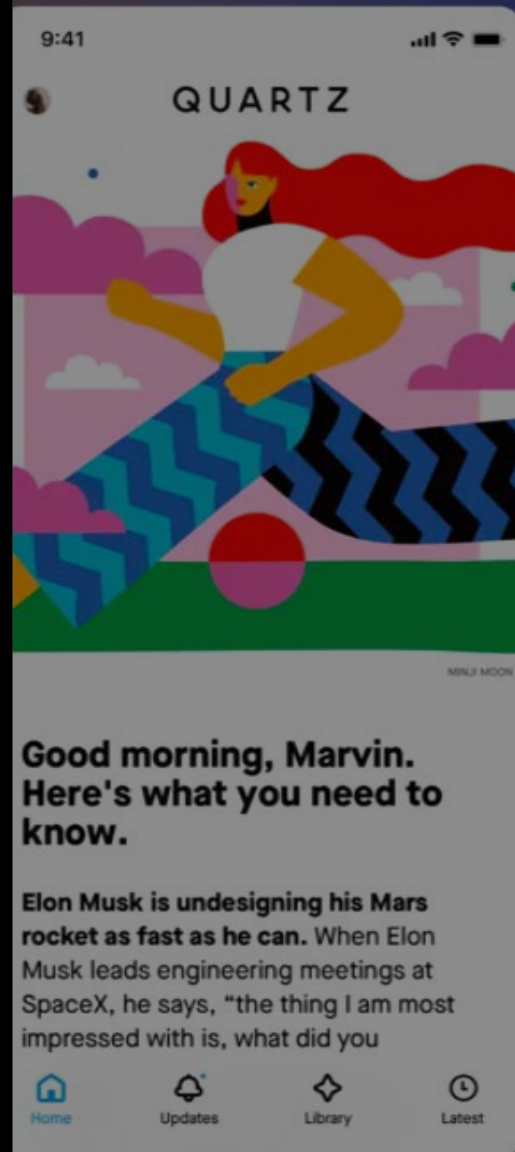
来期を見越して人材を前倒しで採用
体制が整い来期は大きく人員を増やさないため
今後は利益率が上昇に向かう見込み



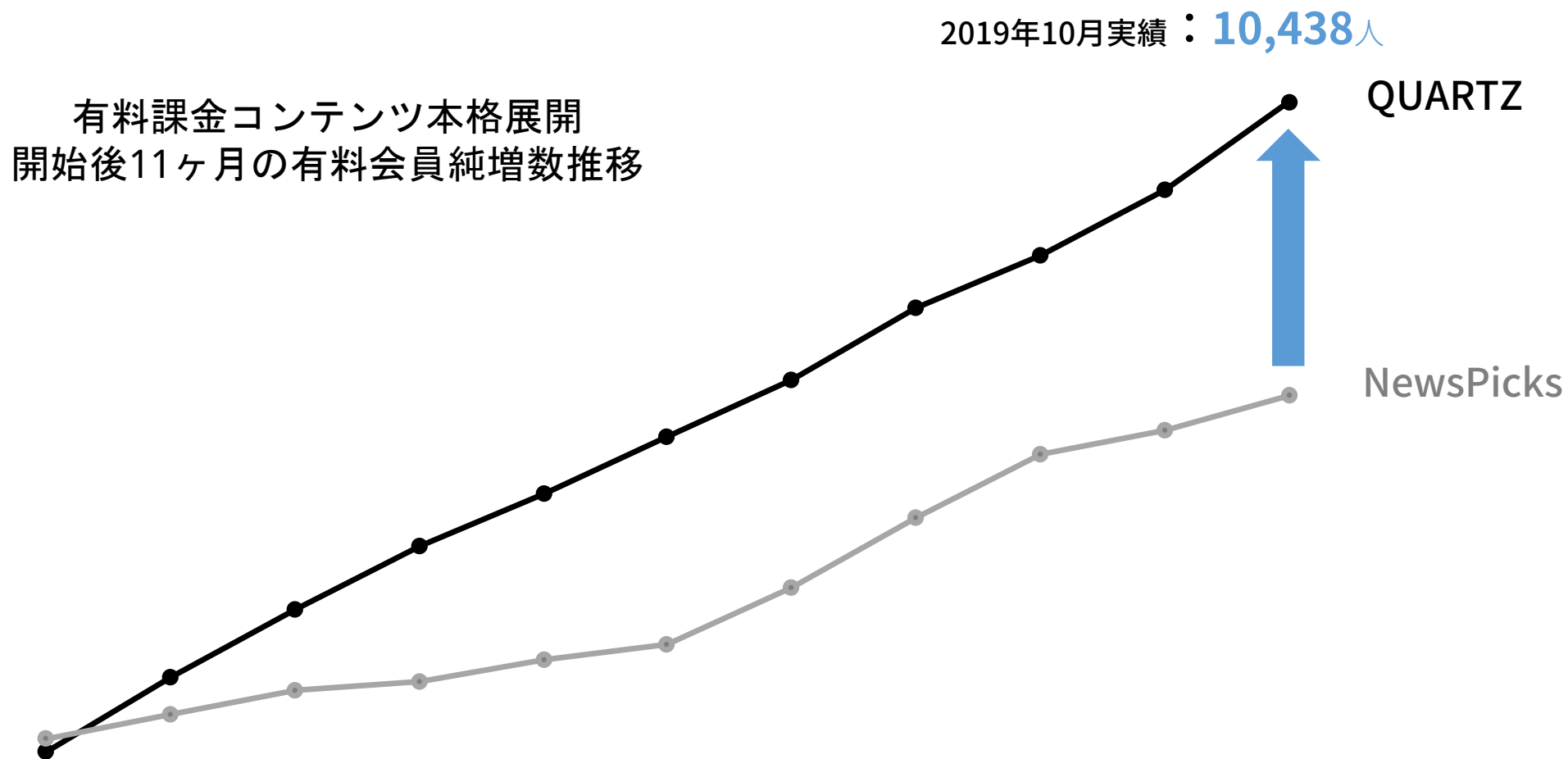
前年比

+80人

04 Quartz事業ハイライト

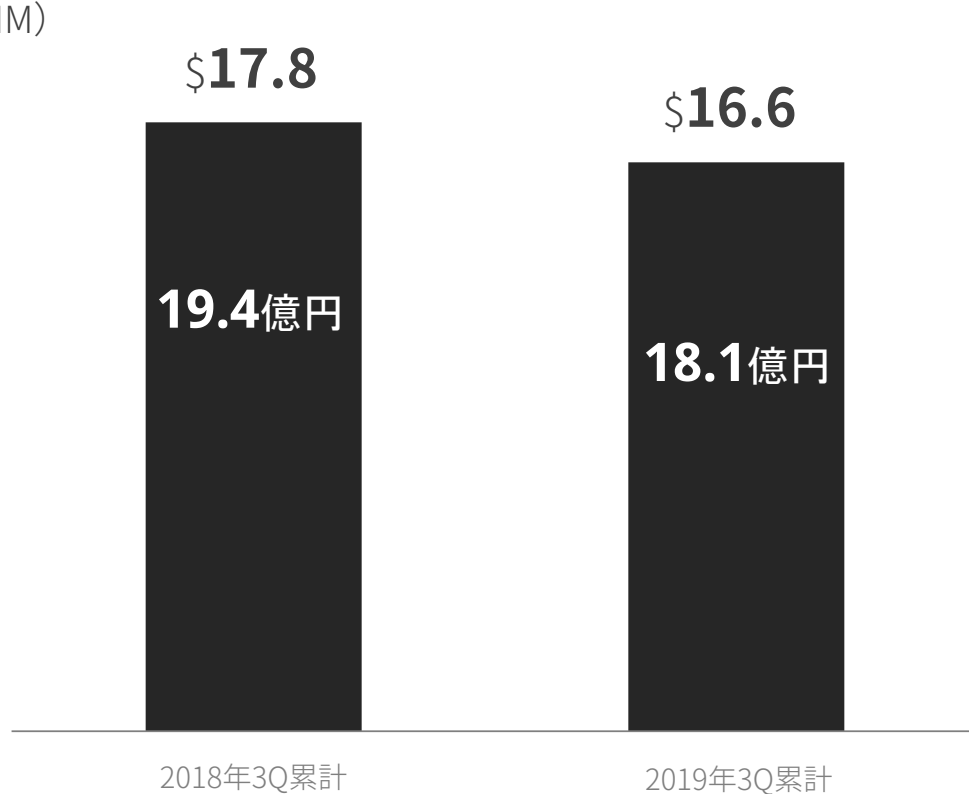


開始11ヶ月時点での有料会員数は NewsPicksの1.5倍のスピードで拡大し、1万人を突破



有料課金シフトをこれまで以上に加速 これにより広告売上が減少し、売上高は前年比で7%減

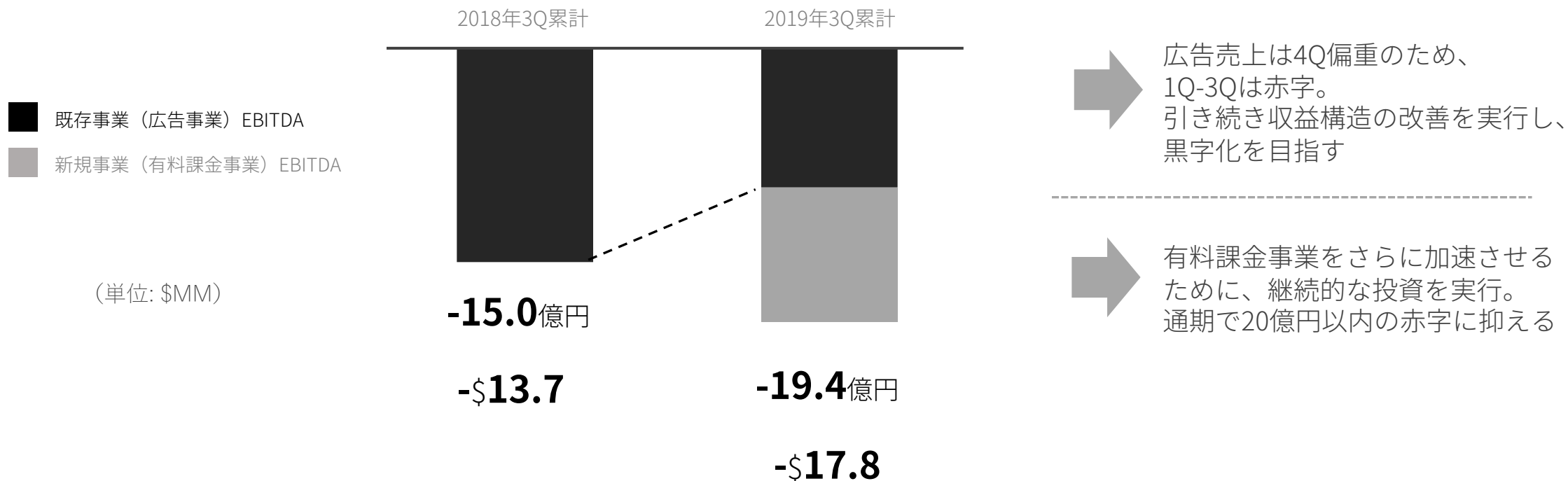
(単位: \$MM)



前年比

-7%

既存事業のコスト構造の合理化を進め、 引き続き有料課金事業への投資を実行



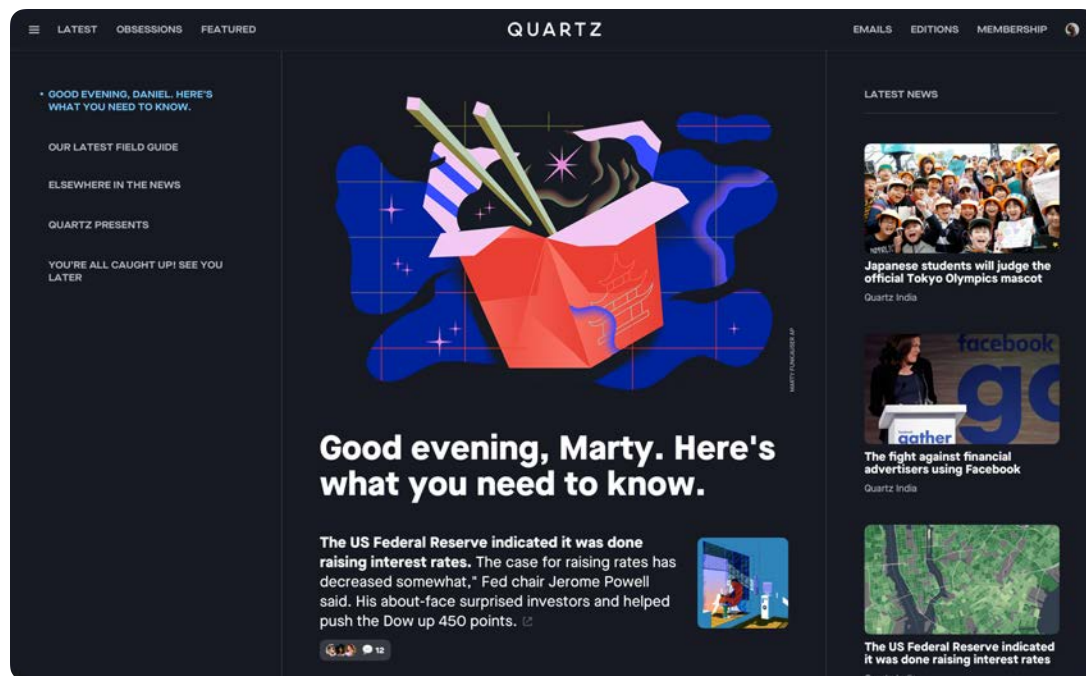
※ 2018年3Q、2019年3Q共に2019年1-9月の平均レート1\$=109.15円で換算
 ※ 事業構造改革費用などの一時費用は除く

※ 2018年3Q累計業績は、買収前の業績を含んでおり、未監査

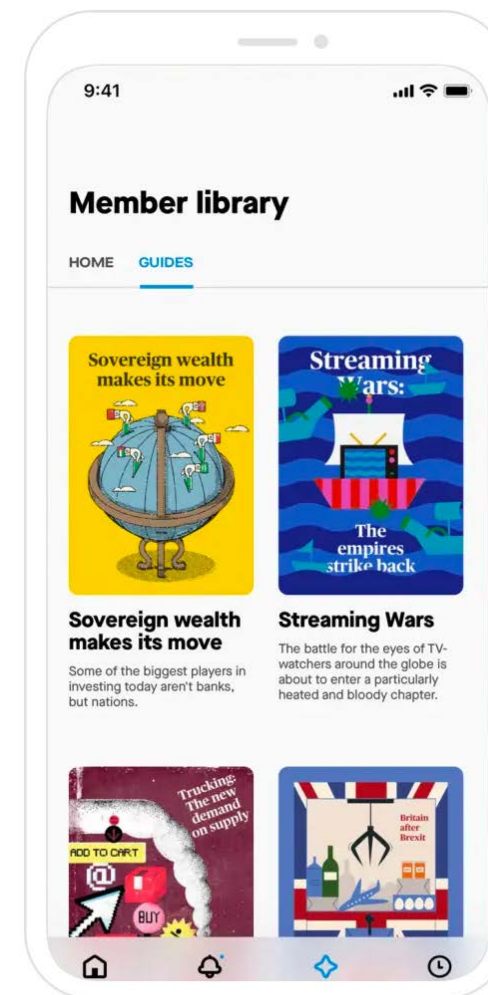
“One Quartz”のもと、Webサイトとアプリをリニューアル UI/UXの統一戦略を敷き、ユーザーの操作性を更に改善



アプリ



Webサイト



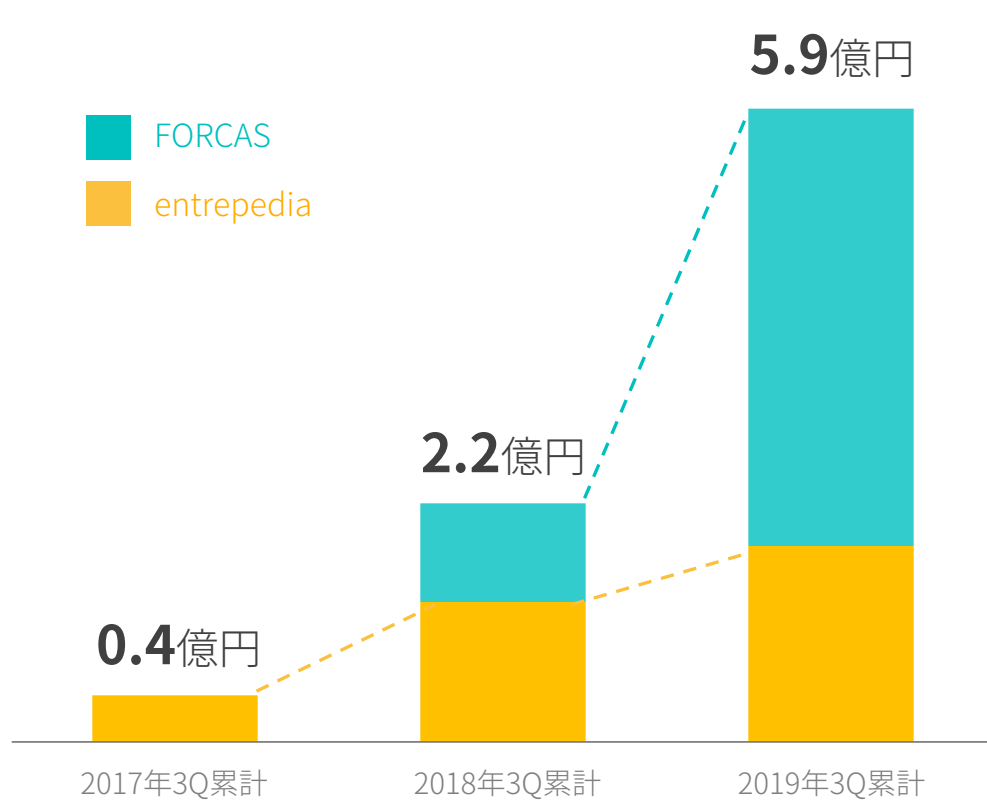
イギリス、インド、日本でも 順次ローカル版のサービスをリリース



QUARTZ

05 その他事業ハイライト

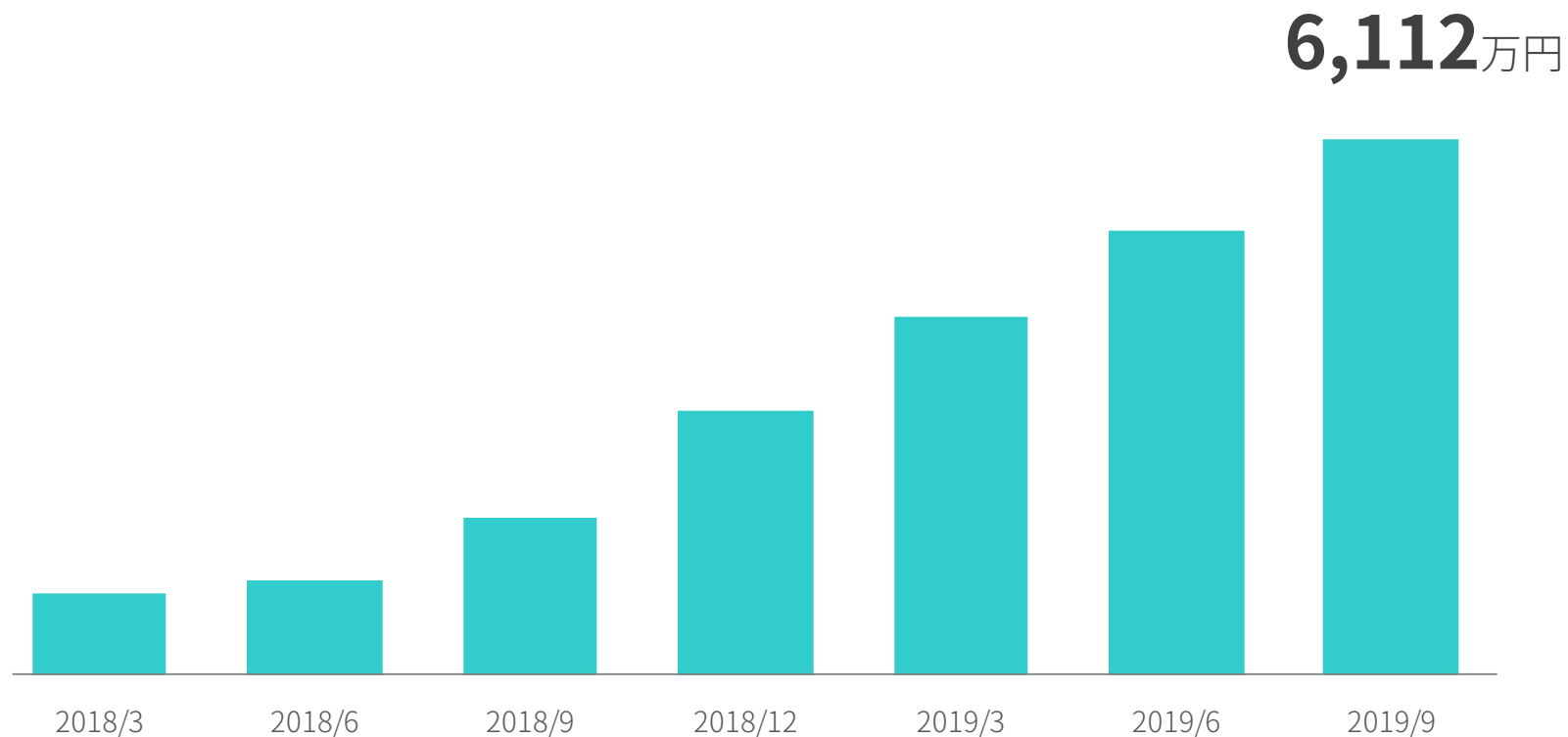
FORCASが売上の大幅な拡大を牽引



前年比

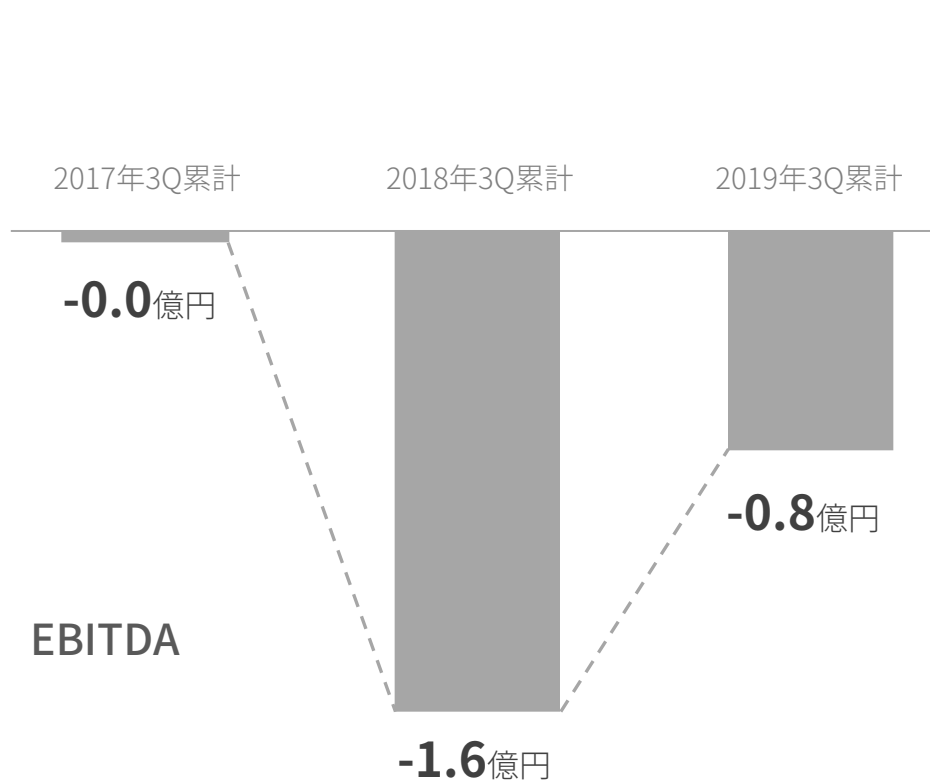
+161%

FORCASのMRRは引き続き順調に成長



※ MRR (Monthly Recurring Revenue) : 継続課金による月次収益で、初期費用等の一時的な売上は含まない

投資は継続しているが、 売上増と採用ビハインドで赤字幅は縮小



前年比

+0.8億円

06 APPENDIX

連結PL実績

(単位：百万円)	2017年3Q累計	2018年3Q累計	2019年3Q累計
売上高	3,173	5,431	8,473
売上高成長率	46%	71%	56%
SPEEDA事業	2,046	2,629	3,304
NewsPicks事業	1,084	2,074	2,758
Quartz事業	—	505	1,814
その他事業	41	221	596
EBITDA	491	267	-832
EBITDA率	16%	5%	-
営業利益	457	105	-1,436
営業利益率	14%	2%	-
経常利益	445	-140	-1,558
経常利益率	14%	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	389	-594	-1,571
親会社株主に帰属する四半期純利益率	12%	-	-
SPEEDA 期末ID数	1,906	2,428	3,005
NewsPicks 有料会員数	49,230人	81,839人	109,810人

※ セグメント間の内部売上高を消去しております。

※ 2018年3QのQuartz事業の業績は買収後の2ヶ月間（8月と9月）となります。

連結BS増減比較

(金額単位：百万円)

	2018末	2019 3Q末	増減比較
流動資産	8,592	7,845	-746
現金及び預金	5,725	6,259	533
固定資産	10,211	9,988	-223
資産合計	18,804	17,833	-970
流動負債	3,566	4,009	443
固定負債	8,920	9,166	245
負債合計	12,487	13,175	688
(有利子負債)	9,574	10,047	473
純資産合計	6,316	4,658	-1,658

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度（2018末連結BS）については遡って適用した後の数値となっております。

UZABASE

経済情報で、世界を変える

決算情報の詳細は『第3四半期決算短信』及び
『第3四半期報告書』をご確認ください。

免責事項

当資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

当資料に記載された情報や将来の見通しは、作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確実性を含んでおります。今後、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

UZABASE

2019年11月12日